

令和6年度第1回台東区地域ケア全体会議

日 時：令和6年7月25日（木） 台東区地域包括支援センター運営協議会終了後

場 所：台東区役所10階1002会議室

出席者：15名

新田委員 須田委員 渡邊真純委員 松田委員 川又委員 井澤委員 石井委員
小嶋委員 渡邊ひろみ委員 河井委員 佐々木浩子委員 武田委員 和泉澤委員
佐々木洋人委員 水田委員

欠席者：2名

1. 開会

2. 地域ケア全体会議

(1) 令和5年度地域ケア会議実施状況について

高齢福祉課長

資料1「台東区地域ケア会議の概要」、資料2「令和5年度地域ケア会議実施状況」に沿って、令和5年度の地域ケア会議の実施状況を報告。

(2) 令和5年度自立支援・介護予防に向けた地域ケア個別会議実施状況について

高齢福祉課長

資料3「令和5年度自立支援・介護予防に向けた地域ケア個別会議実施概要」に沿って報告。令和5年度第2回地域ケア全体会議で報告した内容にモニタリング状況を追加。そのうち3事例を紹介。専門職や事例提供者でふりかえりを行ったサポーター連絡会について報告。司会者と助言者が会議の経験を踏まえて工夫した結果、本人のやりたいことを引き出し、適切なアドバイスができたなどの肯定的な意見があった。一方で、助言者メンバーの固定化、居宅支援事業所のケアマネージャーへの会議の概要の事前の周知不足などの課題もあった。

委員<事例提供者の関係者の立場からの意見>

本人の前向きな生活を支える点で、多職種の方々が後押しをしてくれるところが良い会議であると感じている。

(3) 令和5年度地域ケア個別会議実施状況について

高齢福祉課長

資料4「令和5年度地域ケア個別会議実施概要」に沿って報告。令和5年度第2回台東区地域ケア全体会議よりモニタリング状況と新たに5事例を追加で報告。そのうち2事例を紹介。

委員<質問>

みのわ地域包括支援センターの事例について、ハローライトによる安否確認とあるのですが、これはどういうものなのでしょうか。

高齢福祉課長

LED電球に通信機能がついており、点灯状況で安否確認を行うものでございます。自宅のトイレや洗面所等特定の場所にLED電球を設置し、その点灯消灯の動きを見るものでございます。24時間点灯消灯の動きがない場合、区と地域包括支援センターへその情報が来ます。その後、自宅へ尋ねて安否確認を行う流れでございます。

委員

結果的には、対象の高齢者の方は、亡くなっていたのですね。

高齢福祉課長

地域包括支援センターは土曜日でも一般業務を行っていますが、区役所につきましては、土日祝日は休みであるため、確認が最長で3日ないし2日かかる場合があります。そのため、みのわ地域包括支援センターのような事例の状況は、少なからずございます。

(4) 地域ケア会議から発展した事業の実施状況について

①ICTを活用した介護予防活動支援事業（みんチャレ）

介護予防担当課長

口頭にて報告。ICTを活用した介護予防活動支援事業みんチャレ事業の新規開始の経緯や事業内容を説明。

②リハビリ専門職によるシルバーカーの使い方講習会

高齢福祉課長

口頭にて報告。リハビリ専門職によるシルバーカーの使い方講習会の概要を説明。講習会実施日から約1ヶ月後にモニタリングを実施予定。この2つの事業について、今年度の地域ケア合同会議および台東区チームミーティングにて効果を検証し、令和7年度の実施主体や実施方法について検討を行い、第2回の本協議会にて検討結果を報告予定。

委員<質問>

リハビリ専門職によるシルバーカーの使い方講習会の募集や周知をどのように行ったか。

高齢福祉課長

広報たいとうのような媒体で大々的に募集は行っておらず、高齢福祉課で実施している自立支援用具の給付事業の申請者の方の情報から抽出し参加いただけそうな方にお声がけさせていただいています。

委員<みんチャレ事業に携わっている立場からの意見>

「みんチャレ」は、1回目は設定で2回目は検証という形で開催し、本学の学生がボランティアとして参加しました。参加された高齢者の方は、スマートフォンをほとんど電話として使っているのでアプリのダウンロードの仕方や機能の理解が大変な様子でしたが、学生と和気あいあいできて楽しく和やかに過ごせた様子です。しかし、参加者が限られるなかで高齢者の方5人を1グループ作るのは大変だと思います。若い方もグループに入っただき先導していただくと高齢者の方のモチベーションも上がりより良い事業となると思います。

3. 閉会